

トピックス

【情報共有】「動物分野 AMR センター」が設立されました。

令和 5 年 10 月 1 日より、動物医薬品検査所 検査第二部「安全性検査第 1 領域」の名称が、「動物分野 AMR センター」（英名:Veterinary AMR Center）へと変更されました。

https://www.maff.go.jp/nval/yakuzai/yakuzai_pl.html

これまでも動物分野の薬剤耐性における基幹検査機関として、動物医薬品検査所検査第二部「安全性検査第 1 領域」は、動物由来薬剤耐性菌モニタリング（JVARM）による動向調査等の充実・強化等に動物分野の取組を中心となって取り組んできましたが、名称変更により、国内外でのプレゼンスを高め、動物分野の AMR に関する各種取組をより一層推進して参ります。

動物分野 AMR センター（Veterinary AMR Center）ロゴマーク：



モチーフは耐性菌（耐性遺伝子）の関係を示す Minimum Spanning Tree のイメージ図ですが、これに当センターが動物分野 AMR の日本の中心となって対策を牽引していくという意味を込めています。また、モチーフを囲む菱形はヒト、動物、環境、食品のワンヘルスを表しています。

動物分野 AMR センターは、動物分野における AMR 対策に不可欠な以下の取組を一元的に担い、AMR の拡大抑制のための施策に効果的につなげ、人医療や獣医療、食品衛生等への悪影響防止を図ることを使命としております。

- (1) 動物分野の動向調査・監視の確実な実施及び人医療分野等と連携したワンヘルスの取組推進
- (2) 動向調査・監視により収集・蓄積された知見を解析・評価し、抗菌剤の慎重使用や抗菌剤に頼らない畜水産物の生産の実現のための実効性のあるリスク管理措置の科学的根拠の提示や普及啓発のための情報発信を強化
- (3) WOAH コラボレーティングセンターとして国際機関と連携したアジア地域の対策強化

農林水産省動物医薬品検査所
動物分野 AMR センター